

 キーワードを入力してください

Unifinity Creative Lounge &gt; TIPS &gt; サンプルアプリ集

このセクションの記事



## PDFを表示する



ユニフィニティーカスタマーサポート

2018年11月26日 06:15 ・ 更新

### 1.概要

Unifinityアプリケーションは、PDFを呼び出して表示させることができます。この記事では、インターネット経由で取得したPDFファイルや、リソース登録したPDFを表示させる方法を解説します。

以下のようなケースに対応できますので、ぜひご覧ください。

- インターネットからダウンロードしたPDFファイルを表示したい
- リソースに定義したPDFファイルを表示したい

解説で使用しているサンプルプロジェクトは、以下よりダウンロードすることができます。ぜひご活用ください。

[read\\_PDF.zip](#)

### 2.動作イメージ

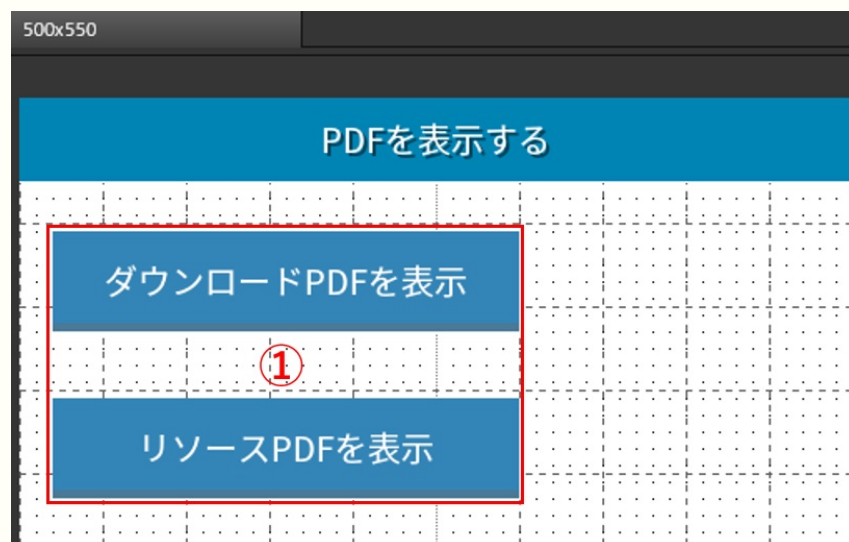


## 3.実装方法(重点事項のみ解説)

### 3-1.画面の作成

以下の要領で新規に画面を作成し、その中にボタンを配置します。

①ボタン



### 3-2.ダウンロードロジックの作成

ダウンロードに使用するロジックを作成し、ダウンロードボタンにロジックを登録します。

ダウンロードに使用するロジックは以下となります

無効 No.	処理名	コンポーネント	仕様	オブジェクト
	1 PDFダウンロード	ネットワーク/ファイルダウンロード	《http://dev.unifinity.co.jp/index.php?plugin=attach&pcmd=open&file=unifinity_faq.pdf&refer=FrontPage》	基本情報 説明 ファイル名 010_ダウンロードPDF表示ロジック.ufl ロジック名 010_ダウンロードPDF表示ロジック
	2 PDFファイル読込	ファイル/PDF閲覧	《ダウンロード.pdf》を閲覧する。（ファイル名）	

#1 ネットワークからファイルをダウンロードするロジックです。

PDFファイルのURIに対してHTTP通信を行い、ファイルをダウンロードします。

ダウンロードされたファイルは、「ダウンロード.pdf」としてアプリ領域に保存されます。

処理

処理名

PDFダウンロード

コンポーネント

ネットワーク/ファイルダウンロード

仕様

自動

《http://dev.unifinity.co.jp/index.php?plugin=attach&pcmd=open&file=unifinity\_faq.pdf&refer=FrontPage》に《》をオプションとして、《》をパラメータとしてGET送信し、結果を《ダウンロード.pdf》に出力する。（文字コード:無変換）

URI

文字

http://dev.unifinity.co.jp/index.php?plugin=attach&pcmd=open&file=unifinity\_faq.pdf&refer=FrontPage

HTTPメソッド

GET

送信パラメータ

文字

ヘッダーオプション

文字

送信パラメータ追加

文字コード

無変換

ファイル名

文字

ダウンロード.pdf

#2 PDFファイルを表示します。上記#1で取得した「ダウンロード.pdf」をファイル名に指定して表示します。

処理

処理名

PDFファイル読込

コンポーネント

ファイル/PDF閲覧

仕様

自動

《ダウンロード.pdf》を閲覧する。（ファイル名）

文字列

文字

ダウンロード.pdf

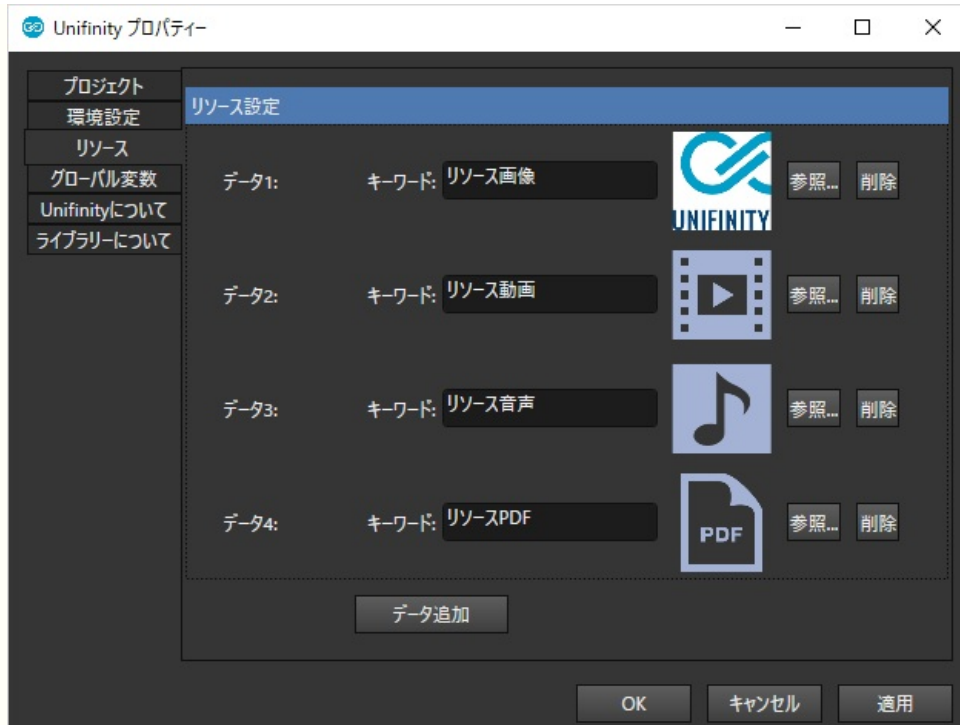
対象

ファイル名

### 3-3.リソース呼出しロジックの作成

リソースPDFを呼び出すためのロジックを作成し、ボタンに設定します。これにはあらかじめリソースにPDFを登録しておく必要があります。

リソースPDFは、「プロパティ」>「リソース」から「キーワード」を設定して登録します。キーワードは、リソースを呼び出す場合に使用します。



リソース読込に使用するロジックは以下となります。

無効	No.	処理名	コンポーネント	仕様	オブジェクト
<input type="checkbox"/>	1	リソースPDF取得	ファイル/PDF閲覧	《リソースPDF》を閲覧する。(リソースKEY)	基本情報
<input type="checkbox"/>					説明
					ファイル名 011_リソースPDF表示ロジック.ufl
					ロジック名 011_リソースPDF表示ロジック

#1 リソースからPDFを呼出します。「リソースKEY」パラメーターに、先ほど設定したキーワードを指定します。

処理	
処理名	リソースPDF取得
コンポーネント	ファイル/PDF閲覧
仕様	自動
仕様	《リソースPDF》を閲覧する。(リソースKEY)
文字列	文字
対象	リソースKEY

以上でPDFを表示する設定は完了です。

メニューアイコンの「実行」ボタンからアプリを実行して正しく動作するか確認してみましょう。

各ボタンを押して、画面にPDFファイルが表示されたら成功です。

## 4.関連ドキュメント

### ロジックリファレンス

- ファイル/PDF閲覧

### 逆引き辞典

- 画像を表示する
- 動画を再生する
- 音声を再生する

この記事は役に立ちましたか？

☐ はい

☐ いいえ

0人中0人がこの記事が役に立ったと言っています

他にご質問がございましたら、[リクエストを送信](#)してください

[個人情報保護方針](#)

[利用規約](#)

Copyright © 2018 Unifinity Inc